

防災特別授業

を受けて

一年二組 久米

泰地

ぼくが阪神淡路大震災の時は大阪にいて、被害が小さかったんだけど、その時神戸市にいた人は大変だったんだと思います。

今日の話で早大防災教育支援会WASENDという団体があることも初めて知って、その人の話を聞いてとても防災についての関心が強くなりました。ぼくは実際に津波を体験

した男の子の話を聞いて、お母さんと姉が行く不明でかあいうたなと思いました。その他にも地球と卵を比べて地震のメカニズムをわかりやすく解説してもかかってよく理解できました。それにインドネシアでも活動をしたりして、インドネシアで地震が起きたとしても今度は被害が減ると思います。ぼくはこの前テレビで津波が来たかこうなるのかというのを見て「なんか、こわいな」と思っています。活動でその思いがふつと

消えました。インドネシアの活動で稲村の火
という話を聞いたことがあるような気がしま
した。小学生のころ先生が昔大きな地震があ
って一人の男の人が海の水がひいていろのを
見つけて、人に言ったのですかたれも聞いて
くれず村に火をつけると村の人は山たのぼり
しました。すると津波が来たけれど山の上なの
でたすかったという内容でした。今日は多く
の知識をくださって本当にありがとうござい
ました。